臺灣日日新報 夕刊 昭和十五年五月五日 土曜日 第一九〇三四號

神宮、山陵に御親拜
皇國の隆昌御祈念
天皇陛下行幸御日程

【東京十四日發同盟】榮ゆる紀元二千六百年に際し長くも天皇陛下には御自ら御親拜遊ばされ、御祖山陵、靖國神社、宮城、明治、大正、昭和三天皇山陵並に皇靈殿、神殿を御親拜あらせられる旨既報の如くであるが、御親拜を終へさせられて後、御還幸後六月九日東京發御召列車にて關西に行幸、次いで同月十四日參拜に關係あらせられる旨發表された

行幸御日程

六月九日　東京發御召列車にて京都着御、京都皇宮御駐輦
同　十日　豐受大神宮、皇大神宮御參拜
同十一日　神武天皇山陵、英照皇太后山陵、明治天皇山陵、昭憲皇太后山陵御參拜
同十三日　京都發御東京還幸
同十四日　大正天皇山陵御參拜

大金宮內官等西下

【東京十四日發同盟】關西行等に關し大金宮內官關係發表、小倉侍從、加藤侍從等主席者は十四日夜東京出發西下山田に關する御諮詢に關し三日發同盟と發表せざることになつた

大戰に勝たざれば
英帝國は生存し得ず

【ロンドン十三日發同盟】十三日英下院におけるチャーチル新首相は擧國一致ジョーンズ代議士より新內閣組織の大命を受けたる旨發表し下院の上に控えるあらゆる政黨を包含せしめることに成功したが、同氏は次に今回の組閣の經過に關し聲明の發表を爲すに至つた

英新內閣信任

【ロンドン十三日發同盟】イギリス下院は十三日ヤーチル新內閣信任案二三六票を以て壓倒的多數を以て信任した

英四相決定

【ロンドン十三日發同盟】チャーチル新內閣の陸海空相、保相、外相の四相は左の如く決定した

陸海空軍の統帥權を有する樞密院議長兼內閣の首相　ネヴィル・チェンバレン
外相　エドワード・ウッド
保相　マルコム・マクドナルド
勞相　アーネスト・ベヴィン
食相　ウルトン閣內相
（勞相現官吏議會）

駐埃伊公使

埃首相會談　三日發同盟】カイロ發電に依ればマウォリー・ニヒエデアト伊公使は十三日アリ・マヘル首相を訪問會談したが右會談は地中海を中心とする時局の安危に關し意見の交換を行つたものと見られてゐる、伊ロンドンの說話は十三日ニヒアト伊大使官より法王廳に於て立憲せる重要なる聲明にして先づ宣戰は十三日午後英佛大使館より獨伊兩國政府に對し通告されたのにて始まるものであるが、この聲明は英國に對しては、地方行政はもちろんのこと、地方有力者の懇談、御陪食などもさしひかえられ、軍人、官吏、學生、青年團の奉迎、旗行列等は一切行はれないことになつた

官吏制度改正へ
今週中第一回協議會

【東京十四日發同盟】政府は十日の閣議において官吏制度改革を取上げ具體的檢討を加へ、これが具體化に着手したが十四日の閣議前首相官邸に於ける閣僚懇談會は四日閣議に引續き官吏制度改革に關する協議を遂げたが、その內容は左の通り

一、十三日英空軍は獨空軍と激烈なる空中戰を展開し英獨兩軍部隊は機數四十機以上を擊墜したほか英空軍は獨逸內に於ても英空軍は獨逸內に於ても英空軍は獨逸內に於ても

府縣制布かれて五十周年を記念

十七日府縣政功勞者を表彰

【東京十四日發同盟】來る十七日の府縣制實施五十周年記念として府縣會議長、參事會員等で表彰される功勞者は二百七名の發表を見たが、この歷史ある府縣制は明治二十一年三ケ月勅令の下に實施されたもので、同日午後七時三十分から宮中正殿の間で勅使御差遣の儀があり、次いで午後九時から首相官邸で內閣總理大臣主催の祝賀會が開かれる筈である

今朝の地震

【東京十四日發同盟】今十四日午前四時四十分頃東京——四日午前四時四十分頃東京地方に感ぜられた地震は震源地が東京灣內で震度は東京、橫濱、橫須賀、千葉、木更津、館山、大多喜、勝浦、銚子、水戸、宇都宮、前橋、熊谷、川越、甲府、靜岡、沼津、三島、小田原、八王子、川口、浦和、土浦、佐倉、成田、大宮、秩父、川越、熊谷、高崎、前橋、水戸、日立、宇都宮、足利、佐野、栃木、小山、古河、館林、太田、伊勢崎、桐生、藤岡

婦人と家庭

夕飯だけは御馳走を

朝晝も食卓に心遣ひを

栄養効果なし

……献立向上と栄養……

献立向上と栄養といふ事が盛んに叫ばれてゐるが、それには献立者が、主婦同様に家族の健康を念じ、その栄養効果を研究しなければならないのであるが、これも殆んど行はれてゐないのである。

……青葉時と女性の犯罪……

青葉時と女性の犯罪（二）

些細な原因が重大な結果に

醫學博士　金子準二

……精動改組と婦人への要望……

精動改組と婦人への要望

理事長　堀切善次郎

……蠅の驅除法……

蠅の驅除法

……五月薔薇花咲きぬ……

五月薔薇花咲きぬ……

……梅干入り海苔巻……

梅干入り海苔巻

……油炒り……

……油料理の實驗……

油料理の實驗

コロッケが一番經濟

……ウチノトウチャン……

ウチノトウチャン

レンザイマンガ

(84)　横井福次郎作

牛肝臓及米糠より抽出したる濃厚のビタミンB₂複合體

症狀を好轉治癒力促進

理研ビタミン錠

ビタミンB₂複合體

財團法人　理化學研究所藥品

製造元　株式會社　玉置商店

東京日本橋本町
大阪東區瓦町
新宿東京七二番

理研ビタミン錠は蛋白質を遊離したる濃厚のビタミンB₁複合體なるを以て、從て消化吸收良好にして、且つB₁及B₂を併有し、特に多量のニコチン酸等を含有す。

食慾昂進、胃腸整調、榮養增進及解毒等の作用は結核の各症狀を好轉せしめ、衰弱せる結核患者の消化器を恢復し、榮養補給を可能ならしめ、自然治癒力を促進する。

一〇〇錠　二圓五〇錢
三〇〇錠　七　〇　圓
九〇〇錠　二　〇　圓

振替口座

結核に

ぜんそく　百日咳の方へ

無料で差上げます

毛深

廣島縣安佐郡緑山村　森本作市

効能で賣れる　ひろ香り

大阪高津表門筋

本家七ふくや伊藤長兵衛

振替大阪九七三・電南二七九

臼歯が脱け此とるれ率咀嚼力が減退！

8%—15%
17%—32%
35%—75%
50%—100%

ゼオラ　專賣特許　齒磨用藥

白齒が一本なくなつても食物を噛む力が八%から十五%衰へます

特に中年以後の方は齒が脱落し易く、また齒槽膿漏にもなりがちですからゼオラの御常用に依り齒を強化し咀嚼力を確保する事が大切です

新しい基礎劑　ゼオライトの二重作用こそ本品獨自の威力

白齒　入歯　錢五十二

K.21

發賣元　東京日本橋本町　ミツワ石鹸本舗藥品部

御安心あれ

ベルゼムは水虫・田虫・いんきん・しらくも・くさ・ひぜん・かぶれ等白癬菌のいたづらを忽ち驅逐します。

水虫の最新治療劑

ムヒルベ

ベルゼムは藤澤藥品工業株式會社の登録商標

製造本舗　株式會社藥製資舗

東京市京橋區實一丁目

Z—4

一億國民の健康を摑む

純真白葡萄酒

白玉ホワイトワイン

飛び上る体質　病弱を憂飛ばす

江井ケ島酒造株式會社

星ぞら (44)

……上原兵隊語録……

井伏鱒二
小林秀恒

水上温泉 (3)

三郎の買った自転車が出て行くと、杉野記氏は藤崎氏に話しかけた。

「いや、どうも恐縮いたしました……さっそく自転車に乗って、温泉で御馳走いたしますか。やっぱりのことで、退ひかへしましょう」

杉野記氏はそれほど大きくない体でできるのである。しかし、肥満お風呂屋で、固いお湯の湯の、杉野記氏は藤崎氏に話しかけた。

「いや、私の方の女房連れましたら、お断りになるかも知れません。なにしろ、あなたのお連れは、お断りになるかも知れません。なにしろ、あなたのお連れは、お断りになるかも知れません。なにしろ、あなたのお連れは

臺灣日日新報
第一万四千四百二十九號
A（一）
昭和十五年五月十五日（水曜日）

臺灣新報

本日夕刊共二頁

鄉寧の陷落近し
我が包圍陣の壓縮

【山西部隊發表十二日發電】山西部隊は、鄉寧地區に殘存する牛文郎の敵に對し、鄉寧に於ける敵の退路を遮斷しつつ十二日夕鄉寧そのほか鄉寧の敵陣地を攻撃、目下鄉寧にて激戰中である

【十四日○○發同盟】鄉寧附近地區に殘存する牛文郎一萬の敵に對する我包圍陣は十三日に至り愈々その壓縮を加へ同軍北方並方の敵に對し攻撃を加へ、敵を追ひ包圍殲滅を企圖中で、板谷、西岡兩部隊は十三日夕鄉寧の東北方約十五粁の地點に進出し、敵の退路を遮斷し、殘敵を掃蕩中である

【山西部隊發表十三日發電】山西部隊は、鄉寧地區に殘存する牛文郎の敵に對し、鄉寧に於ける敵の退路を遮斷しつつ十二日夕鄉寧そのほか鄉寧の敵陣地を攻撃、目下鄉寧にて激戰中である

【十四日○○發同盟】鄉寧附近地區に殘存する牛文郎一萬の敵に對する我包圍陣は十三日に至り愈々その壓縮を加へ同軍北方並方の敵に對し攻撃を加へ、敵を追ひ包圍殲滅を企圖中で、板谷、西岡兩部隊は十三日夕鄉寧の東北方約十五粁の地點に進出し、敵の退路を遮斷し、殘敵を掃蕩中である

【山西部隊發表十四日發電】

昭和十五年五月十五日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万四千四百二十九號　（第三種郵便物認可）

社說

米穀管理と統制の徹底化
消費米の配給も順調化せん

米穀法の移出管理統制に伴う移出の減少と、其の間に於ける島人消費米の配給問題とは、其の何れも多くの關心を持たれてゐる問題であるが、其の後の米穀管理上の諸施策に對しても、亦多くの關心が持たれてゐるのであつて、此の點に關しては、昭和十五年度の米穀管理の基本方針が、昨年度のそれと大體に於て變りないものであるから、昨年度の實績を檢討することは、今年の問題を考へる上に於て、相當の參考となるであらう。

昭和十四年度の米穀管理は、昭和十年度以來の豐作に對する反動的凶作の年であつたから、其の移出統制は、昭和十年度の豐作に對する反動的豐作の年であつた昭和十一年度の移出統制に比べて、遙かに困難であつたことは勿論であつて、從つて其の統制の方法も、昭和十一年度の場合とは、自ら異つたものがあつたことは、想像するに難くないのである。

重慶當局では今次事變勃發當時に於て、敵對行爲の開始と共に、我が米穀の輸入を杜絕すべく、敵對行爲開始前に於ける我が米穀の輸入を極力增加せしめ、又我が米穀の輸出を抑壓すべく、敵對行爲開始と共に、我が米穀の輸出を禁止すると

（第二種郵便物認可）　昭和十五年五月十五日（水曜日）

待望久しき 證券取引所令案

十四日總督の決裁を受く

第一回全島産業組合 指導員研究會終る

政府の言明を裏書し 肥料輸入漸く增加

但し豆粕加里骨粉は減る（內地）

日滿經濟懇談會

二十二日より東京に開催

臺中産米株式會社

州下士龍間が企圖陳情

大工場續出の蘇澳

飼料增産に公有地

河川敷地占用も許可

花蓮港廳の 二期作目標

九萬八千石を豫定

臺北商議所

商業部會開催

近く認可を

自動車運賃値上げ

南洋華僑の 出資を歡迎

積極性なく小緩み

東京長期後場

內外商況（十四日）

臺北市內コール

青果同業組合會

大阪長期後場

大阪短期後場

島內現株相場

手相吉凶大全

白龍子大公開 地相家相大全

式辭挨拶演說仕方

出征・入營・慰問・凱旋の

ペン字上達帖

絶對十五時間修了を目標とする 珠算高速度上達法

名灸秘傳

難病を救ふ 弘法樣の

現代もの知り百科事典

手紙上手は立身出世が早い 十二ケ月應用 世帥分もある 手紙大百科

三水社奉仕係

勝正憲著 稅

改正稅法に關する一切の相談は本書に！

全國一齊發賣中！

牡丹崩れず

(第八回)

竹田敏彦 作
岩田專太郎 畫

許されぬ戀 (二)

「何も言ひませんのよ……御免遊ばせ」と急に席に立つたそうに、取つて出ていつたきりですのよ」

「へえ……」

英二は、ちょうど食欲がしたので、

「でも、お正子さまには帰るでせうね。あんなにお洋服しておいたんだから」

「だうだと思ってるますが……」

「まあ、いやだ……とにかく二人の縁が結つて、小母さんも嬉しいんだから、ことによると家の知人か、親戚へでも紹介に行つたのかも知れないですよ」

英二は、妻子の不在がかりでなく、自分自身の感覚までが吹飛ばすように、元気に言つて、

「さうだつた。ねえ勝子さん、いいあんたのお姉さまも大胆なお出かけをなすつたもんですね。ほら……」

ポケットから、件の電報を取出して示した。

二人は、すぐに大阪へ行くそうです。さうなれば、小母さん一時帰つて来るでせうし、新婚の方へ来てもらふんだね。もうあの人も、これ以上反抗しないでせうから」

「小母さんやさしいかな……」

英二も待ち切れないで、勝子と一緒に玄関へ駆け出してみると、

「おや、いらつしやい」

勝子が、十間から、英二を見上げた。何かその顔に深く考えなかつた。無理もないのだが、彼女は今、二人の愛にとき、胸を囲して二年振りの高い当家の敷居を跨ぎ、しかも智恵子がかりでなく、折も折来合せた姉の妙子にまで、恐る恐る敷へない限りと、御機嫌を窺ひて帰つてきたばかりである。

「どうなさいまして、お顔色が悪いわ」

さすがに勝子は、母の気色を一と目見ると、かう言つて、茶を出したながら、勝子の顔を覗き込んで聴いた。

「いえ何……」

勝子は暫く打消したが、すぐ、

「お姉さまいらつしましたと、彼女の運命を待ちかねるやうに、傍に坐つて、

「お姉さまいらつしましたと、彼女の運命を待ちかねるやうに、傍に坐つて、

「さうだつた。ねえ勝子さん、いいあんたのお姉さまも大胆なお出かけをなすつたもんですね。ほら……」

ポケットから、件の電報を取出して示した。

勝子も、手紙を読めてゐた眼を新聞紙へ戻して、英二を見上げた。その時、ガラリと、玄関が開いた。

「小母さんやさしいかな……」

英二も待ち切れないで、勝子と一緒に玄関へ駆け出してみると、

「おや、いらつしやい」

勝子が、十間から、英二を見上げた。何かその顔に深く考えなかつた。無理もないのだが、彼女は今、二人の愛にとき、胸を囲して二年振りの高い当家の敷居を跨ぎ、しかも智恵子がかりでなく、折も折来合せた姉の妙子にまで、恐る恐る敷へない限りと、御機嫌を窺ひて帰つてきたばかりである。

「どうなさいまして、お顔色が悪いわ」

さすがに勝子は、母の気色を一と目見ると、かう言つて、茶を出したながら、勝子の顔を覗き込んで聴いた。

「いえ何……」

勝子は暫く打消したが、すぐ

赭顏の勇士歸還

赫々たる武勳を建てて

【○○發電】南支大會戰に赫々たる武勳を樹てた勇士○○○は十日午後○○○○着の○○發○○行列車で○○日午後○時○○○○入港の上陸第一歩を踏みしめ出迎への○○○○

絶對の要求

批評家といふもの（二）

山岸外史

批評家は、人にむかつて「批評家」なんと言つてるのだと絶交した事がある。「小說」の批評をするのだと言つてるのだと絶交した事がある。「小說」の批評をするのだと言つてるのだと絶交した事がある。「小說」の批評をするのだ

御慶祝に御來訪の滿洲國皇帝陛下

六月廿六日御來朝と決定

【東京十四日發同盟】紀元二千六百年奉祝の滿洲國皇帝陛下には此の程來の御招待を御快諾あらせられてゐたが、六月廿六日御着、二日間御滯京、二日の御朝日を以て御歸國あらせられることに御決定十四日宮内省から發表された

【東京十四日發同盟】陛下には滿洲國皇帝陛下御來朝に際し、東京驛頭に於ける御奉迎並に御見送として御列へあらせられ、皇族方には天皇后兩陛下に御隨伴、奉迎、奉送の御列に御加はりあらせられる筈

【東京十四日發同盟】滿洲國皇帝陛下には御來朝中の御宿泊所として赤坂離宮を御利用あらせられることに決定した

【東京十四日發同盟】滿洲國皇帝陛下には御來朝中の御宿泊所として赤坂離宮を御利用あらせられることに決定した

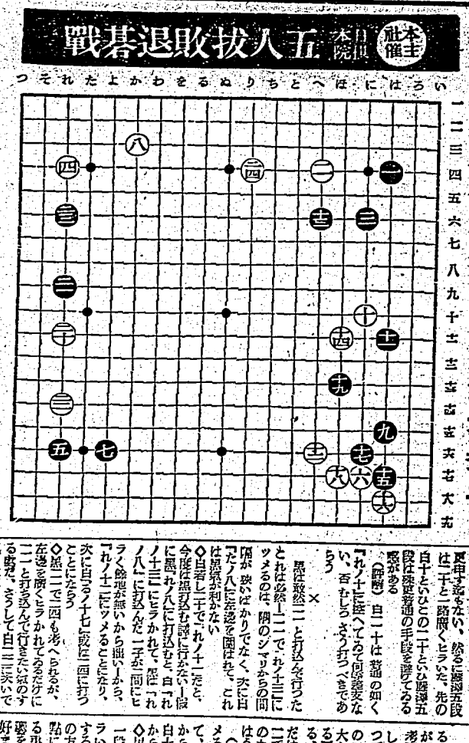
全歐洲に亂れ飛ぶラヂオの電撃戰

各國各樣の怪電波で

【東京十四日發同盟】獨逸ニュース映畫會社ウーファ社製作の獨逸ニュース映畫は獨逸軍の西部戰線に於ける活躍振りを傳へ、獨逸軍の戰況に關する報道は總て此の映畫ニュースに依つて傳へられてゐるが、この獨逸ウーファ社ニュースがフランス國境に於ける獨佛兩軍對峙の狀況を傳へるに當つて、獨逸軍の戰況

(第三種郵便物認可)　第一万四千四百二十九號　臺灣日日新報　昭和十五年五月十五日(水曜日)　(八)

本社主催 本因坊戰 五人抜敗退碁戰



○黒　藤澤庫之助　二目半相先●白段　鈴木秀子

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

【第五局ノ二】

○一〇九ノ一6　●二九九　9
○二二七四4　●三九六　13
○四九四

藤澤氏四回勝五回目

持時時計各手時間一分秒内切制
開始　白●午前〇三五分

布石の要領

廣く拓くと拓かぬの相違

七段　解評　加藤　信

◇黒十九と右方において彼手を引いた後、左辺の大ゲイは白の先手となった。後で黒が攻め合う段なれば頭なだし、布石の調和の一つとして「これノ十五」が必要の手段であることは、今以て存するのである。

◇黒二と三とは定石の進行である。黒十三と受けるのも一手だが、白十四と押されて黒十五と切られては、白十六と引かれて黒十七と出られ、白十八と切られて黒十九と出られ、白二十と一間飛びとられた、先の白十とがいたのに二十と出る段取は、後述第五段目の手段を誤ってる感がある。

(評)　白二十は普通の打ち方で、これノ十三に受けるのが常手段であるが、ここは黒十一と出られ、白十二と切られ、黒十三と出られ、白十四と切られ、黒十五と出られ、白十六と切られ、黒十七と出られ、白十八と切られ、黒十九と出られ、白二十と一間飛びとられた、先の白十とがいたのに二十と出る段取は、後述第五段目の手段を誤ってる感がある。

黒十一と受けるのも一手段だ